# 令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市６
柏市立柏高等学校　全日制の課程　スポーツ科学科

## １　期待する生徒像

次の全てを満たす生徒
ア　本校を志願する動機及び理由が明確で、主体的に学習に取り組むことができる。
イ　体育やスポーツ活動に優れ、生涯にわたってスポーツ活動等に貢献できる。

## ２　選抜資料

| | |
|---|---|
| ⑴学力検査 | ５教科の学力検査の得点 |
| ⑵調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| ⑶学校設定検査 | 学校が定めた以下の検査の結果 |
| 適性検査 | ア　基礎運動能力検査　検査時間：３０分<br>スポーツⅠ（陸上競技・体操競技）、スポーツⅡ（球技）、スポーツⅥ（体つくり運動）の領域から各１種目の計３種目を実施<br>イ　専門種目運動能力検査　検査時間：５０分程度（種目により異なる）<br>次の実技種目のうち１つを選択<br>野球(男)・サッカー(男)・陸上〈長･短距離〉(男女)・柔道(男女)・剣道(男女)・バスケットボール(男女)・バレーボール(女) |

## ３　評価項目及び評価基準

### ⑴学力検査　〔５００点満点〕

| 評価項目 | 評価基準 |
|---|---|
| ア　５教科の得点合計 | ５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。 |
| イ　個々の教科の得点 | ０点の教科がある場合は、審議の対象とする。 |

### ⑵調査書　〔１３５点満点〕

| 評価項目 | 評価基準 |
|---|---|
| ア　教科の学習の記録 | 「各教科の評定の全学年の合計値に K=1 を乗じた数値」で評価する。<br>保健体育の評定が全学年平均 4.0 以上の場合は､総合的に判定する際の参考とする。<br>評定１の教科が複数ある場合は、審議の対象とする。 |
| イ　特別活動の記録 | 学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について総合的に判定する際の参考とする。 |
| ウ　部活動等の記録<br>特記事項 | 資格・特技で特に積極的に取り組んだと認められる記述について、総合的に判定する際の参考とする。 |

### ⑶ 学校設定検査〔３４０点満点〕

**適性検査**

ア　基礎運動能力検査〔９０点満点〕

３種目についてそれぞれ２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(非常に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の４段階で評価する。a を５点、b を３点、c を２点、d を１点とし、２名の評価者の評価（各１５点満点）を合計し、得点化する。評価 d が１つでもある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|---|---|
| （１）　意欲・態度 | 当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 |
| （２）　理解・表現 | 指示された内容を理解し自己表現しようとしている。 |
| （３）　運動基礎能力 | 運動の基礎能力を身に付けている。 |

イ　専門種目運動能力検査〔２５０点満点〕

２名の評価者が、次の５つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(非常に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の４段階で評価する。a を２５点、b を１２点、c を５点、d を１点とし、２名の評価者の評価（各１２５点満点）を合計し、得点化する。評価 d が１つでもある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|---|---|
| （１）　意欲・態度 | 当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 |
| （２）　思考・判断 | 具体的に考え、判断しようとしている。 |
| （３）　理解・表現 | 指示された内容を理解し自己表現しようとしている。 |
| （４）　基本的技能 | 当該種目における基本的技能を身に付けている。 |
| （５）　専門的技能 | 当該種目における専門的技能を身に付けている。 |

## ４　選抜方法

### ⑴ 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

| 学力検査の得点 | 調査書の得点(K=1) | 学校設定検査の得点 | 総得点 |
|---|---|---|---|
| | 評定 | 適性検査 | |
| ５００点 | １３５点 | ３４０点 | ９７５点 |

### ⑵ その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。